

2020年12月期 第2四半期
決算説明会

2020年8月14日

株式会社ソディック

I. 2020年12月期 2Q決算概要

II. 2020年12月期 業績予想

III. 株主還元

(参考資料)

業績ハイライト



- ✓ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、主要市場の中国をはじめ全世界的に放電加工機の販売が大幅に減少
- ✓ 利益面では、生産台数減少に伴う工場の収益性低下等により、前年同期比8割を超える減少。

(百万円)

	2019年12月期 2Q		2020年12月期 2Q		前年同期比 増減		2020年12月期通期予想 (8/7修正)	
	実績	利益率	実績	利益率	金額	率	金額	利益率
売上高	32,717	-	26,702	-	△6,015	△18.4%	54,500	-
売上総利益	11,331	34.6%	8,432	31.6%	△2,899	△25.6%		
営業利益	2,127	6.5%	345	1.3%	△1,781	△83.8%	1,000	1.8%
経常利益	2,073	6.3%	362	1.4%	△1,711	△82.5%	1,000	1.8%
当期純利益	892	2.7%	105	0.4%	△786	△88.1%	500	0.9%
	売上高比率		売上高比率					
設備投資額	2,760	8.4%	810	3.0%			4,500	
減価償却費	1,667	5.1%	1,671	6.3%			3,800	
研究開発費	1,911	5.8%	1,577	5.9%			3,400	
期中平均 為替レート	ドル	110.06 円		108.23 円		1.83円 円高	107.00 円	
	ユーロ	124.32 円		119.31 円		5.01円 円高	121.00 円	
	人民元	16.19 円		15.38 円		0.81円 円高	15.30 円	
	パーツ	3.49 円		3.43 円		0.06円 円高	3.45 円	

※参考情報 2020年6月末 為替レート ドル：107.74円 ユーロ：121.08円 人民元：15.23円 パーツ：3.49円
 2019年6月末 為替レート ドル：107.79円 ユーロ：122.49円 人民元：15.69円 パーツ：3.50円

業績ハイライト（四半期別）



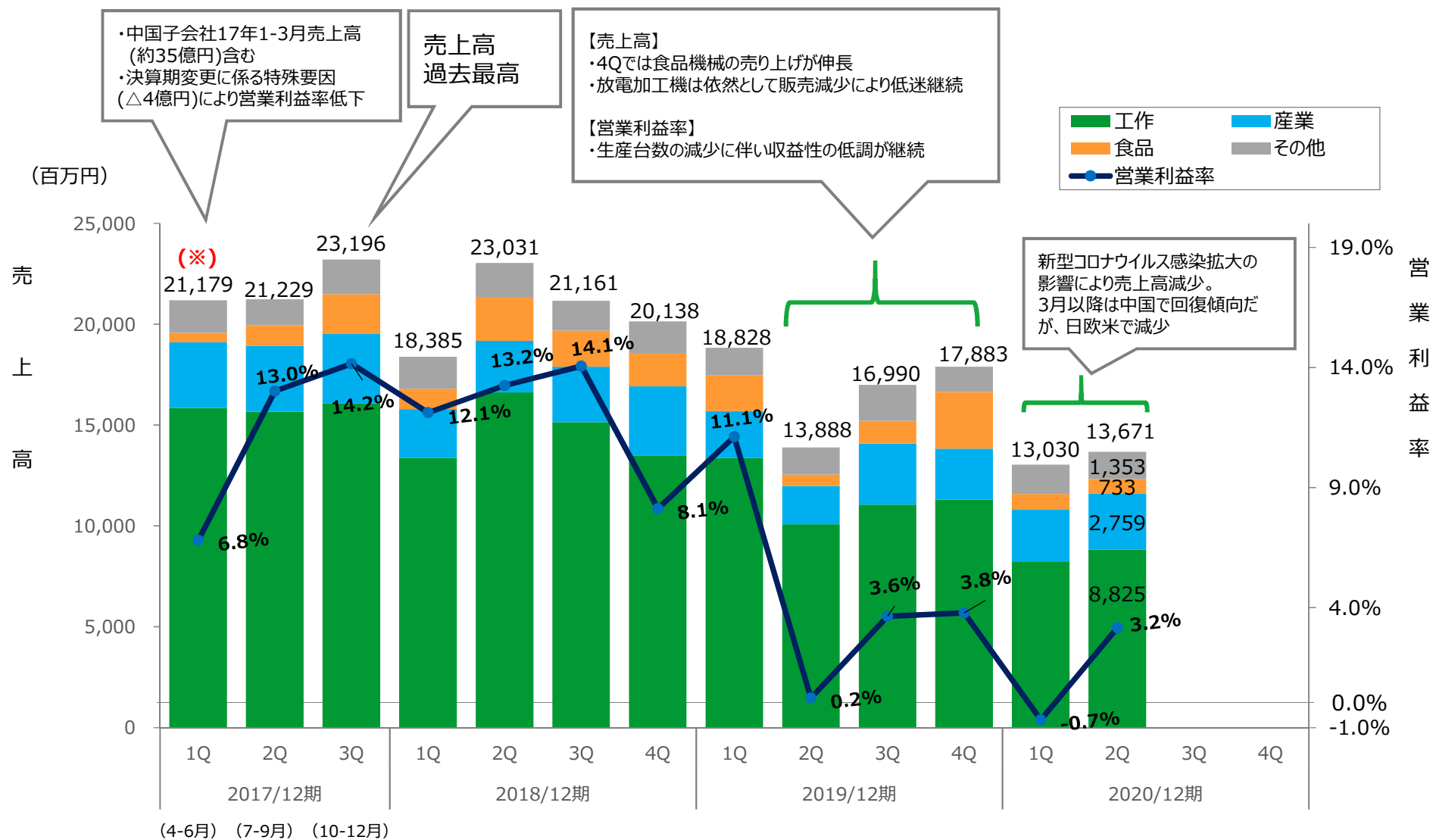
- ✓ 第2四半期は、日本、欧米、アジアでは新型コロナウイルスの感染が拡大し、ロックダウンや外出制限により事業活動が制限され売上高が減少するも、中国での販売が第1四半期比で大幅に回復し、全体の売上をけん引
- ✓ 利益面でも第2四半期は生産台数の増加などあり工場の収益性が改善し、黒字転換。

(百万円)

	2020年12月期				増減	
	1Q (1-3月)	利益率	2Q (4-6月)	利益率	金額	率
売上高	13,030	-	13,671	-	640	4.9%
売上総利益	4,073	31.3%	4,358	31.9%	285	7.0%
営業利益	△88	△0.7%	433	3.2%	521	-
経常利益	△67	△0.5%	430	3.1%	497	-
当期純利益	△18	△0.1%	124	0.9%	142	-

期中平均 為替レート	ドル	108.86 円		108.23 円	
	ユーロ	120.08 円		119.31 円	
	人民元	15.60 円		15.38 円	
	バーツ	3.48 円		3.43 円	

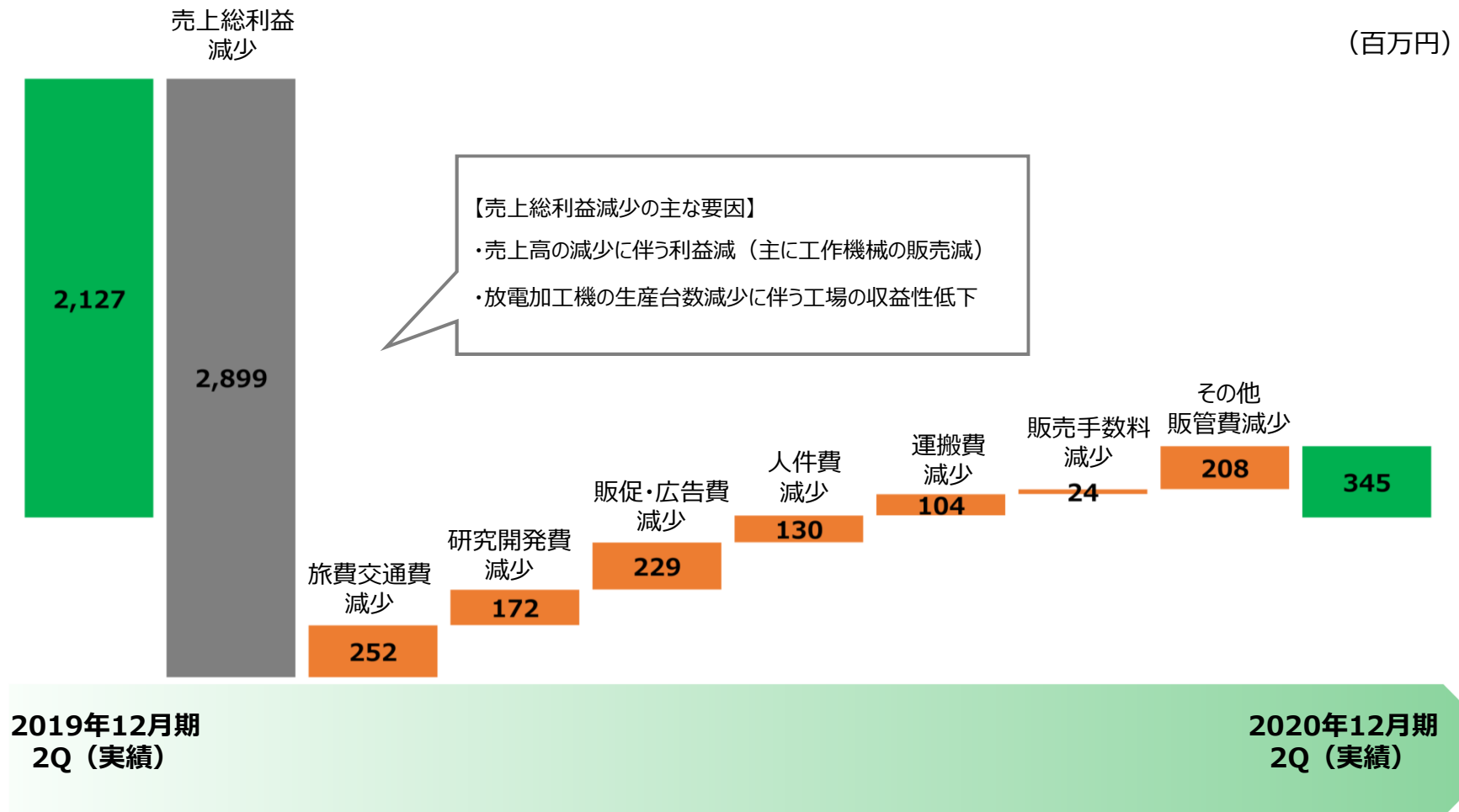
売上高・営業利益率推移（四半期毎）



(※)決算期変更による変則決算のため、中国12月決算会社の17年1-3月の数値含む。

営業利益増減要因

- ✓ 出張制限による旅費交通費の減少、展示会中止による販促・広告費の減少、残業減少による人件費の減少など、販売管理費全体としては約10億円減少するも、売上高の減少等に起因する売上総利益の大幅な減少により、営業利益は345百万円。



セグメント別業績



(百万円)

		2019年12月期	2020年12月期	増減		2020年12月期 通期予想 (8/7修正)
		2Q 実績	2Q 実績	(額)	(率)	
売上高	● 工作機械事業	23,444	17,063	△ 6,381	△27.2%	35,000
	● 産業機械事業	4,213	5,316	1,102	26.2%	9,300
	● 食品機械事業	2,344	1,515	△ 828	△35.4%	4,600
	● その他事業	2,715	2,807	91	3.4%	5,600
		32,717	26,702	△ 6,015	△18.4%	54,500
セグメント 利益	● 工作機械事業	2,862	941	△ 1,921	△67.1%	2,250
	● 産業機械事業	△ 3	276	279	—	400
	● 食品機械事業	293	5	△ 287	△98.1%	150
	● その他事業	64	219	155	241.8%	400
		3,216	1,442	△ 1,773	△55.1%	3,200
調整額		△ 1,089	△ 1,097	△ 8	—	△ 2,200
営業利益 合計		2,127	345	△ 1,781	△83.8%	1,000

セグメント別業績



(百万円)

■ 工作機械事業

【売上高】

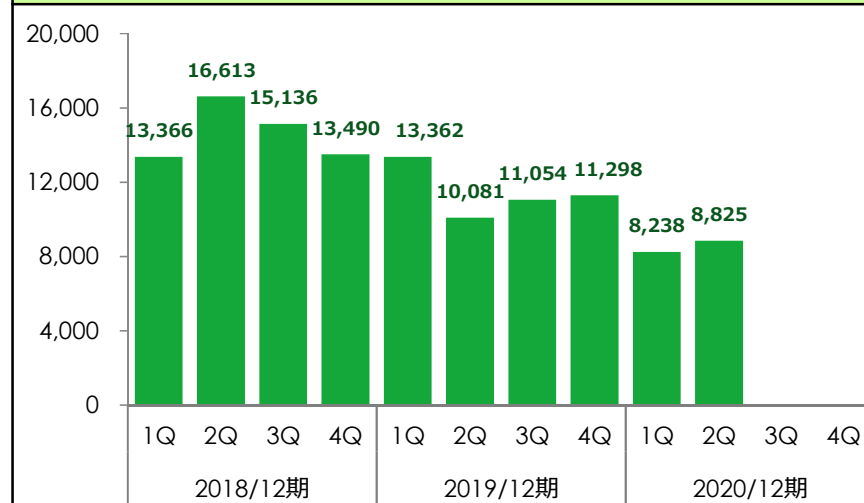
- 2Q累計売上高は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、全世界的に自動車、電子部品、航空宇宙等広範な産業での製品出荷後ろ倒しや設備投資先送りの傾向あり前年同期比大幅減少。
- 四半期では、2Q売上高は1Q比で増加。中国では、3月以降、5G関連や半導体関連分野で需要が復調し、売上高は大幅に増加するも、日本、欧米、アジアではロックダウン・外出制限等により事業活動が制限され売上高は減少。

【セグメント利益】

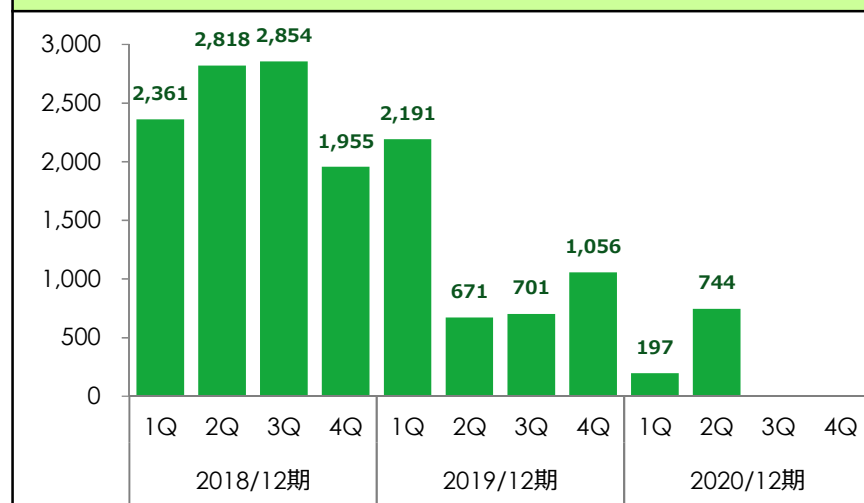
- 売上高の減少及び生産台数減少による工場の収益性低下等により前年同期比大幅減少。
- (百万円)

	2019年 12月期 2Q累計	2020年 12月期 2Q累計	増減	
			額	率
売上高	23,444	17,063	△ 6,381	△27.2%
セグメント利益	2,862	941	△ 1,921	△67.1%

売上高 (四半期毎)



セグメント利益 (四半期毎)



セグメント別業績



(百万円)

■産業機械事業

【売上高】

- 全世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響による経済活動の抑制状況は継続。
- 5Gスマートフォンのアンテナ部品向け、レンズ向け案件のほか、CASEなど次世代自動車関連向けなどの需要もあり、売上高は前年同期比増加。
- 一方、足元の受注には一服感が見られ、先行き不透明な状況。

【セグメント利益】

- 高付加価値製品の販売が継続し、セグメント利益は前年同四半期比大幅に改善。

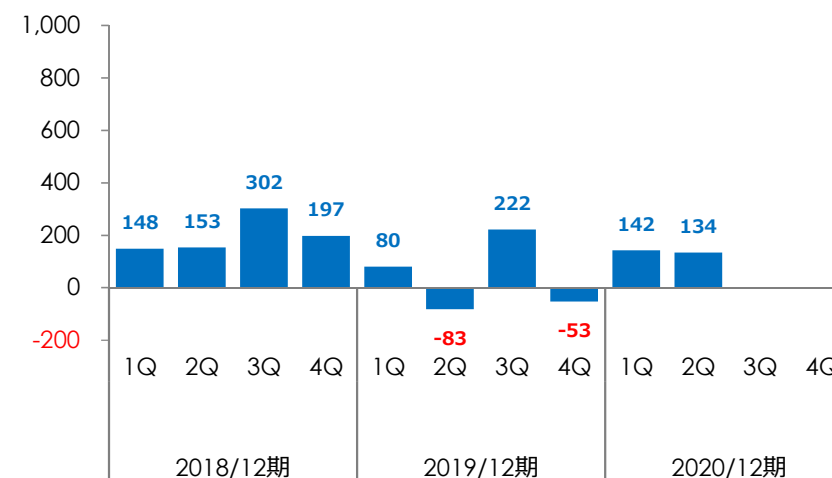
(百万円)

	2019年 12月期 2Q累計	2020年 12月期 2Q累計	増減	
			額	率
売上高	4,213	5,316	1,102	26.2%
セグメント 利益	△ 3	276	279	-

売上高 (四半期毎)



セグメント利益 (四半期毎)



セグメント別業績



(百万円)

■ 食品機械事業

【売上高】

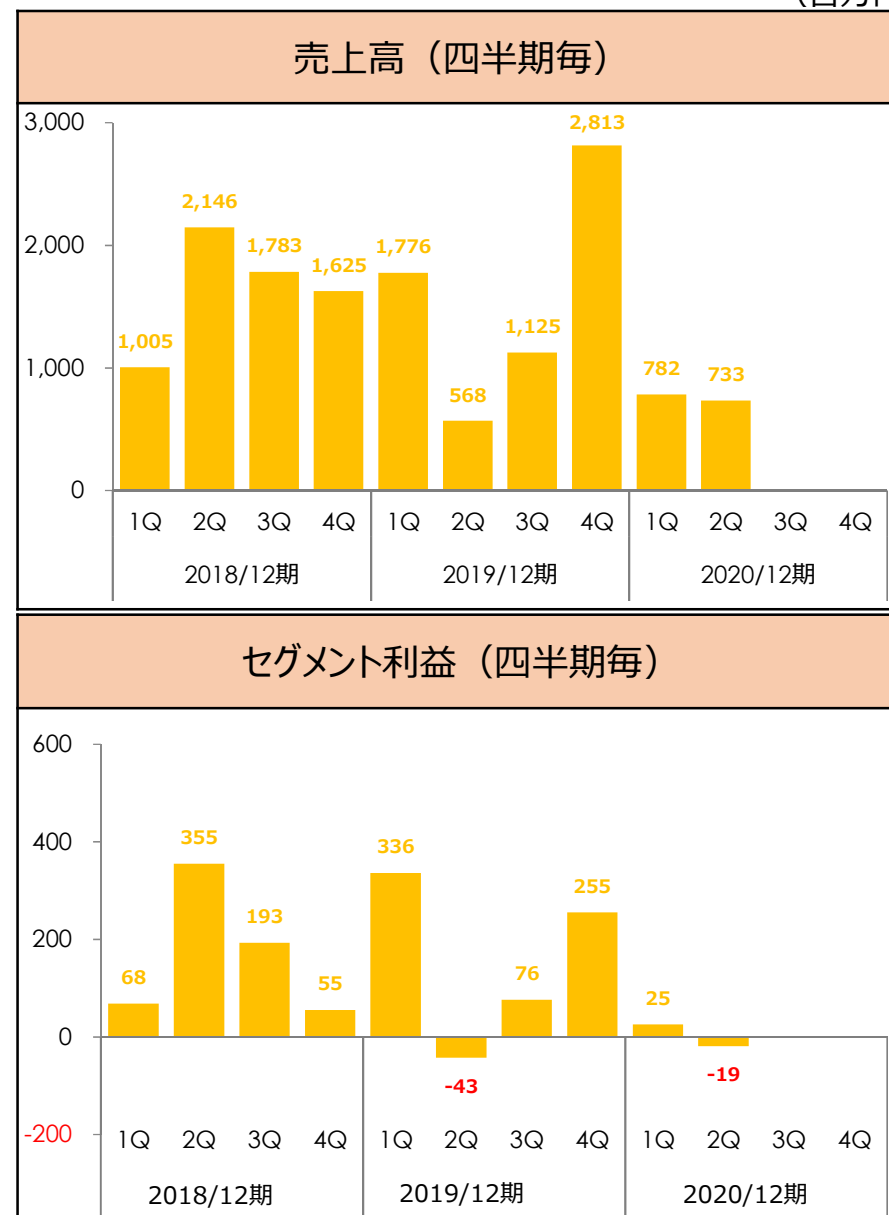
- 衛生面、省人化対応設備の需要継続、外出自粛に伴う巣ごもり需要に関連した需要増加。
- 主要案件の売上見込みが下期以降であること、新型コロナウイルス感染拡大による外食関連向けの設備投資の先送りの動きがあったこと、前年同期には製麺関連の大口案件があった反動等で、今期売上高は大幅減少。

【セグメント利益】

- 前年同期に計上されたような高収益案件が少なく、セグメント利益は低水準。

(百万円)

	2019年 12月期 2Q累計	2020年 12月期 2Q累計	増減	
			額	率
売上高	2,344	1,515	△ 828	△35.4%
セグメント利益	293	5	△ 287	△98.1%



セグメント別業績



(百万円)

■ その他事業

【売上高】

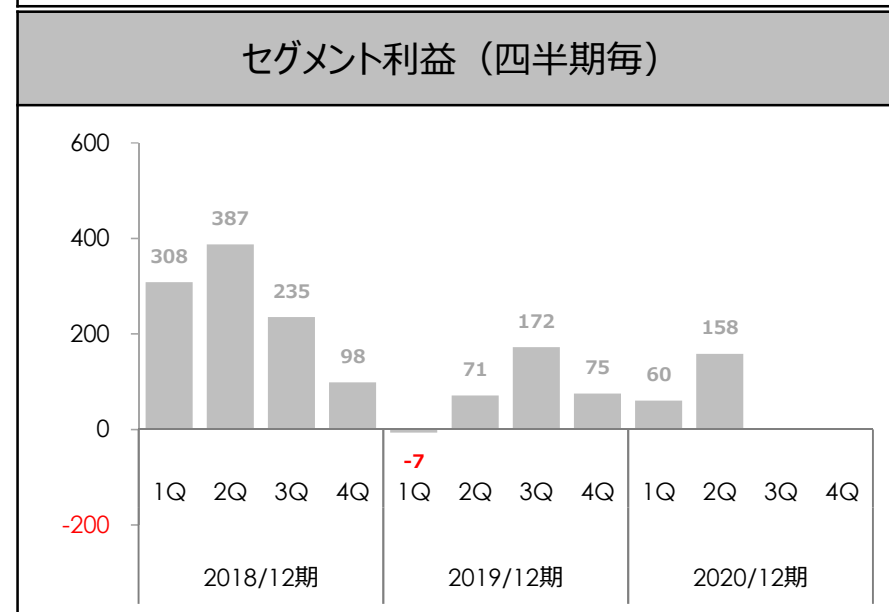
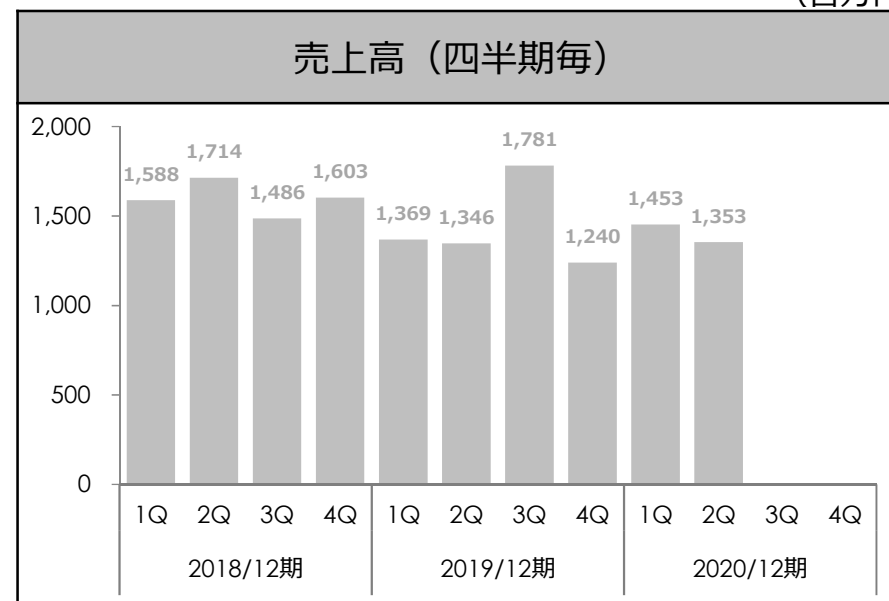
- 金型成形事業は、米中貿易摩擦の影響で事業環境が悪化していた前年同期と比較すると売上高増だが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う自動車産業の需要低迷により、先行きは不透明な状況。
- セラミックスは、新型コロナウイルス感染拡大により、需要減速が継続。

【セグメント利益】

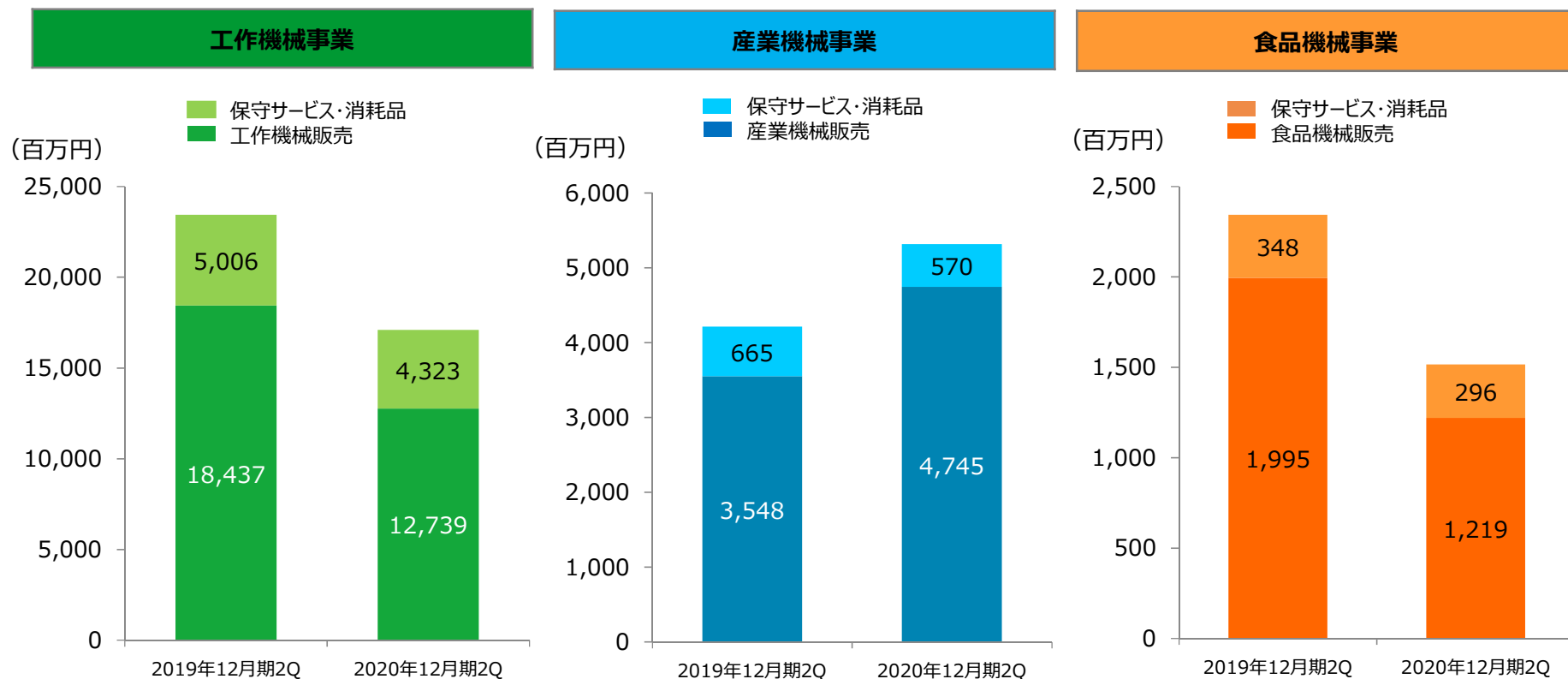
- 事業環境の悪化や研究開発投資により、収益性が低下していた前年同期と比較するとやや回復傾向であるも、依然として低迷。

(百万円)

	2019年 12月期 2Q累計	2020年 12月期 2Q累計	増減	
			額	率
売上高	2,715	2,807	91	3.4%
セグメント利益	64	219	155	241.8%



セグメント別 売上高内訳

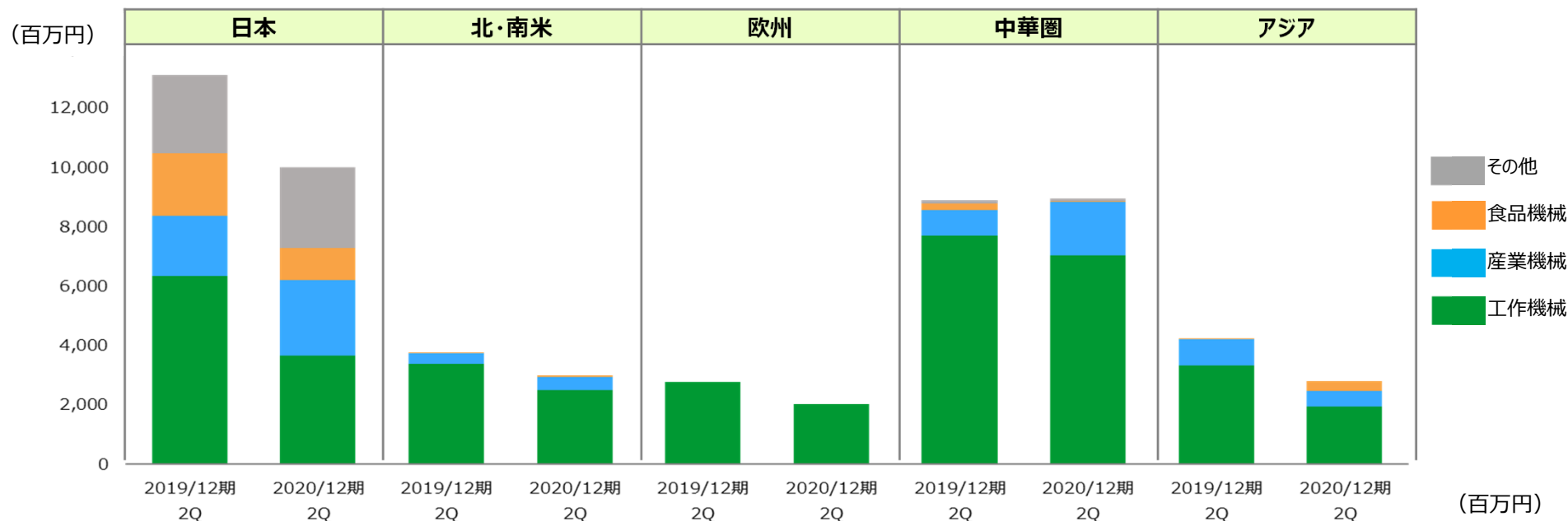


	工作機械事業				産業機械事業				食品機械事業			
	2019年12月期 2Q		2020年12月期 2Q		2019年12月期 2Q		2020年12月期 2Q		2019年12月期 2Q		2020年12月期 2Q	
機械販売	18,437	78.6%	12,739	74.7%	3,548	84.2%	4,745	89.3%	1,995	85.1%	1,219	80.5%
保守サービス・消耗品	5,006	21.4%	4,323	25.3%	665	15.8%	570	10.7%	348	14.9%	296	19.5%
合計	23,444		17,063		4,213		5,316		2,344		1,515	

事業別海外売上高比率



✓ 中国以外の地域での売上高が大幅に減少。 海外売上高比率は 62.7%



2019年12月期 2Q	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	6,312	26.9%	3,370	14.4%	2,770	11.8%	7,691	32.8%	3,300	14.1%	23,444	71.6%
産業機械	2,061	48.9%	368	8.7%	-	-	879	20.9%	904	21.5%	4,213	12.9%
食品機械	2,087	89.1%	10	0.4%	-	-	224	9.6%	22	0.9%	2,344	7.2%
その他	2,631	96.9%	-	-	-	-	84	3.1%	-	-	2,715	8.3%
地域別 計	13,091	40.0%	3,749	11.5%	2,770	8.5%	8,879	27.1%	4,226	12.9%	32,717	100.0%

2020年12月期 2Q	日本		北・南米		欧州		中華圏		アジア		計	
工作機械	3,614	21.2%	2,487	14.6%	1,999	11.7%	7,038	41.2%	1,923	11.3%	17,063	63.9%
産業機械	2,551	48.0%	426	8.0%	-	-	1,794	33.8%	543	10.2%	5,316	19.9%
食品機械	1,089	71.9%	74	4.9%	-	-	19	1.3%	331	21.9%	1,515	5.7%
その他	2,710	96.5%	-	-	-	-	97	3.5%	-	-	2,807	10.5%
地域別 計	9,965	37.3%	2,987	11.2%	1,999	7.5%	8,950	33.5%	2,798	10.5%	26,702	100.0%

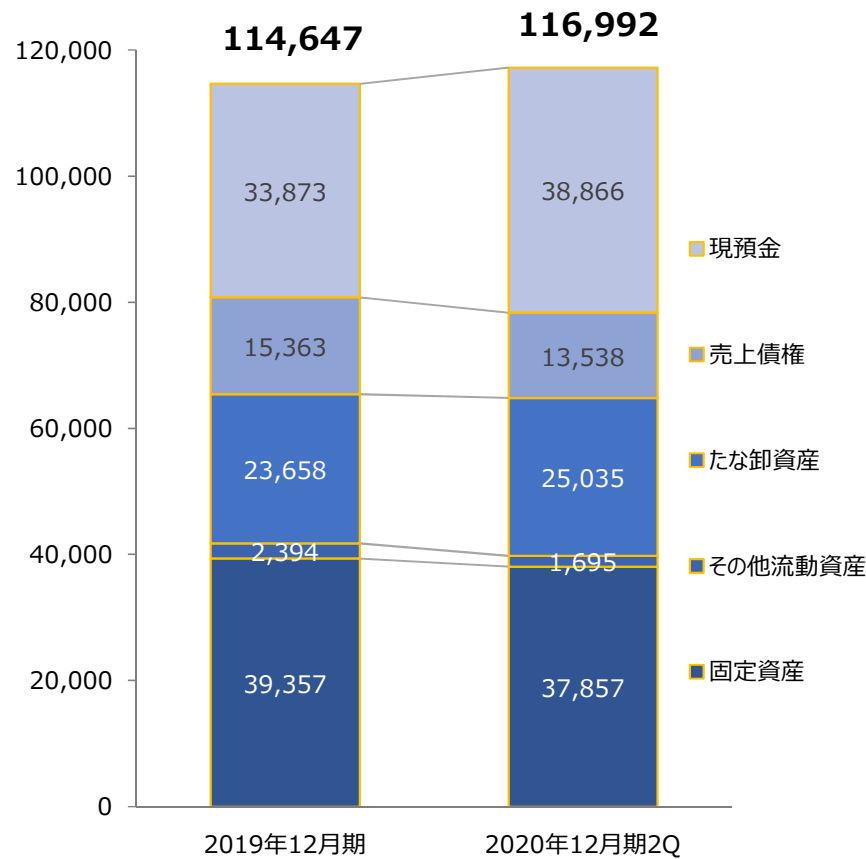
為替の影響額	-	△約 0.4 億円	△約 0.9 億円	△約 3.7 億円	△約 0.5 億円	△約 5.4 億円
--------	---	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

貸借対照表

✓ ネット有利子負債は28億86百万円（前期末比18億77百万円減少）

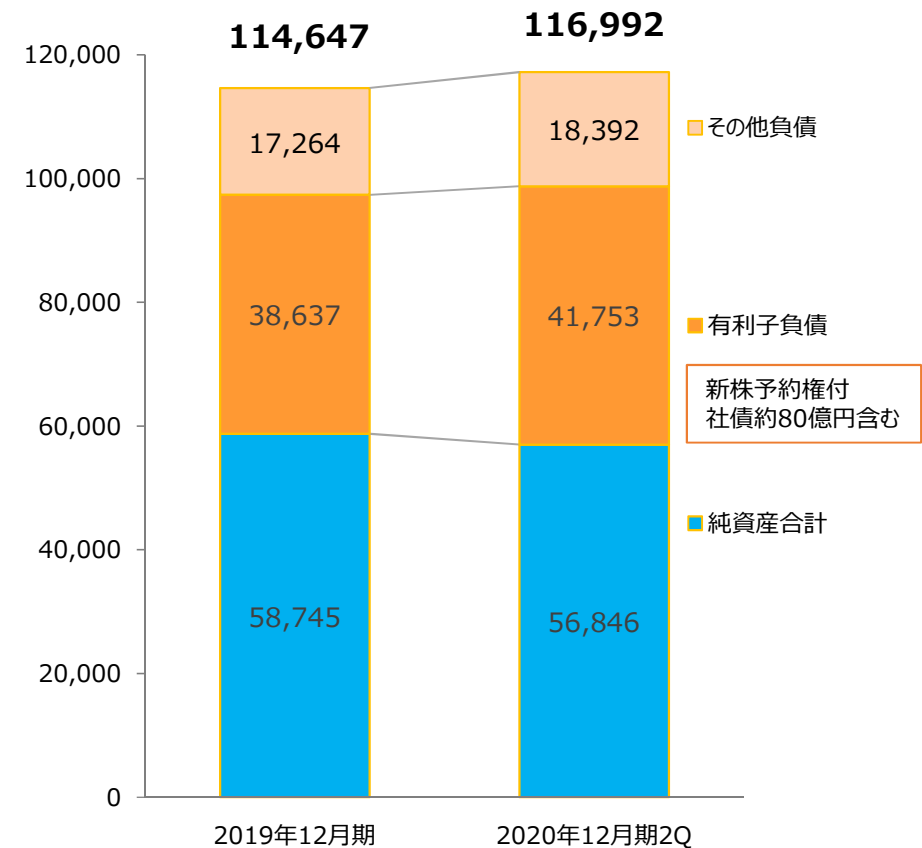
資産

(百万円)



負債・純資産

(百万円)



※参考情報 2020年6月末 為替レート ドル：107.74円 ユーロ：121.08円 人民元：15.23円 バーツ：3.49円
 2019年12月末 為替レート ドル：109.56円 ユーロ：122.54円 人民元：15.67円 バーツ：3.63円

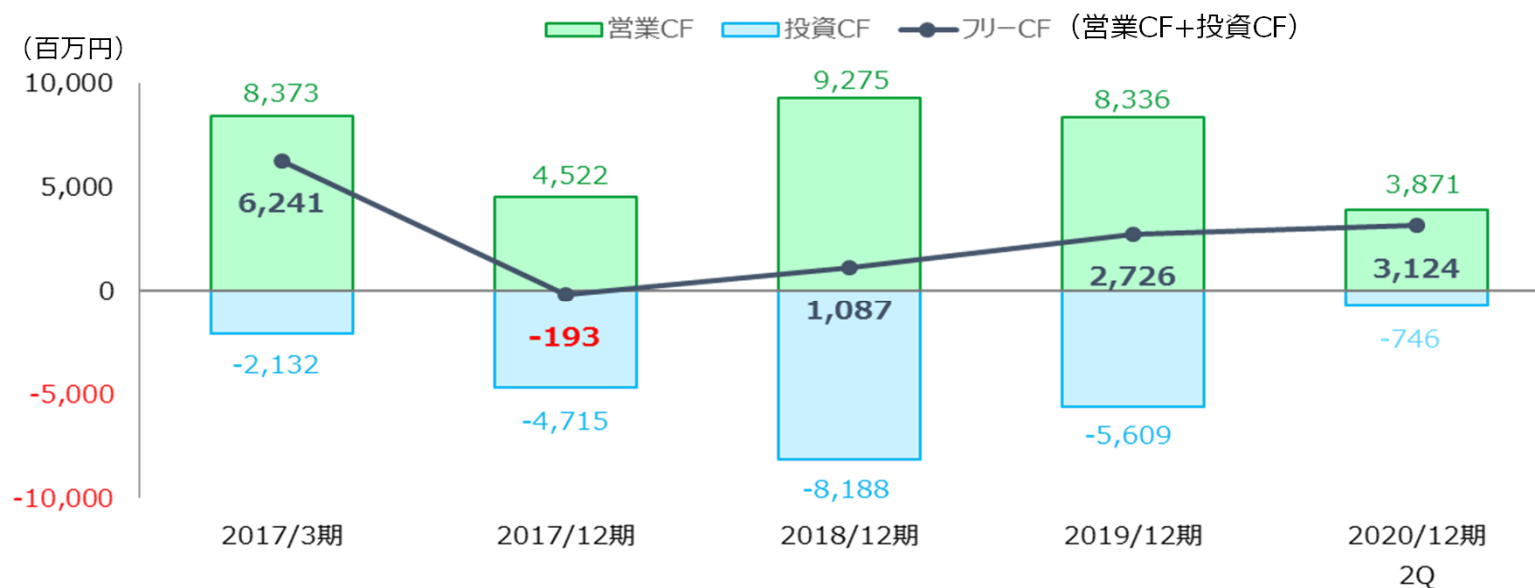
キャッシュ・フロー



- ✓ 営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前純利益が減少するも、売上債権の減少等により、38億71百万円のプラス。投資活動によるキャッシュ・フローは国内外での設備投資が減少し、フリーキャッシュフローは31億24百万円のプラスを確保。
- ✓ 財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の借入れと返済が一部相殺し、23億61百万円のプラス。

(百万円)

	2019年12月期 2Q	2020年12月期 2Q	主な増減要因
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,807	3,871	売上債権の減少 約17億円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,392	△746	有形固定資産の取得による支出 △約8億円
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,335	2,361	長期借入れによる収入 約70億円 長期借入金の返済による支出 △約40億円
現金及び現金同等物の期末残高	33,295	37,898	



1 2020年版グローバルニッチトップ企業100選 に認定

「2020年版グローバルニッチトップ企業100選」は、経済産業省が国際市場の開拓に取り組む企業のうち、ニッチ分野で高いシェアを確保し良好な経営を実践している企業100社を認定と顕彰を通じて、対象企業の知名度向上や海外展開の支援等を目的に実施しております。

同省は、2014年にも「グローバルニッチトップ（GNT）企業100選」を実施し、選定企業100社を認定しておりましたが、その後の目まぐるしく変化する事業環境の中においても、ニッチ分野で活躍している企業等が新たに「経済産業省認定グローバルニッチトップ企業」として選定されることとなりました。

当社は、候補企業として応募、選定評価委員会のご審議を経て、当社の祖業であり、主力製品である「NC放電加工機」が高く評価され、経済産業省認定グローバルニッチトップ企業に選定されました。

※ご参考：

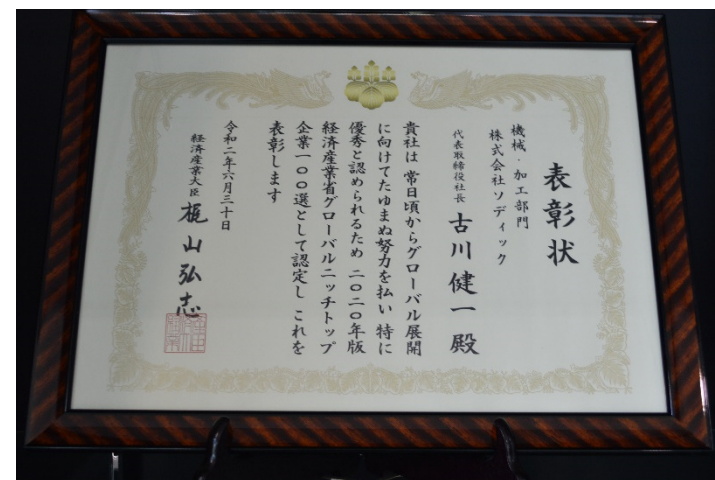
経済産業省認定「2020年版グローバルニッチトップ企業100選」に認定
https://www.sodick.co.jp/pdf/200630144924_20200630_gnt.pdf

経済産業省：ニュースリリース

<https://www.meti.go.jp/press/2020/06/20200630002/20200630002.html>



▲マイクロコンピューター付き
NC形彫り放電加工機 第1号



▲グローバルニッチトップ企業100選の表彰状

2 金属3Dプリンタ「LPM325」によるアルミ合金造形のベンチマークテストサービスの開始

当社では金属3Dプリンタで使用できる金属粉末のラインナップ拡充に向け研究開発を進めておりましたが、この度アルミニウム合金「AlSi10Mg」をラインナップに追加すると同時に、ベンチマークテストサービスを開始いたしました。

アルミニウム合金は強度、硬さ、力学的特性が優れており自動車関連部品に多く用いられております。

今後、益々拡大する軽量化ニーズの取り込みを目指してまいります。



▲シリンダブロック金型（一例）

※ご参考： 高速金属3D プリンタによるアルミ合金造形のベンチマークテストサービス開始のお知らせ
https://www.sodick.co.jp/pdf/200715122835_20200715_News_DDMAI.pdf

3 即席麺生地生産用 大型2軸ミキサーの開発

小麦粉と水を練り上げて麺生地を生産するための機械である大型2軸ミキサーは、攪拌軸を2本搭載することで、粉末と水を均等に混ぜ合わせられ、品質の高い麺の製造が可能になります。また、大型の機械であり、一度に350キログラムの小麦粉を攪拌できるため麺の大量生産に対応します。

今後、国内外での需要拡大が見込める即席麺市場でのシェア獲得に向け、販売を強化してまいります。



▲大型2軸ミキサー

新型コロナウイルス感染拡大に対する当社の対応状況

✓当社 主要拠点での稼働状況は以下の通り（8/7現在）

拠点	稼働状況
日本	公共交通機関利用を一部制限、在宅勤務推進を継続。 8月～10月にて数日間の一時帰休実施。
欧米	出社と在宅勤務のローテーションを実施
中国	ほぼ通常稼働
アジア	通常稼働 タイ工場は需要減少に合わせた生産調整のため稼働日を調整

✓当社グループでの対応

- 需要減少に合わせた生産調整（タイ工場の稼働日調整）による在庫水準の適正化
- 調達先の見直し及び内製化の強化等、サプライチェーンの抜本的な見直し
- 当社における国内全社員を対象とした一時帰休の実施
- 全社レベルでの経費削減の徹底
- 一部グループ会社における給与減額
- 出張（国内・海外）の原則禁止
- 在宅勤務、時差通勤、Web会議等の利用促進
- 学校の臨時休校に伴う特別休暇の付与
- Web展示会等を活用した営業活動の強化
- 安全衛生面の徹底（マスク着用、検温、アルコール消毒、食堂利用時間の制限、外部との接触の自粛等）
- フェイスシールドの生産及び従業員への配布並びに医療関係・各種公共機関、スポーツ関連施設・団体などへの供給

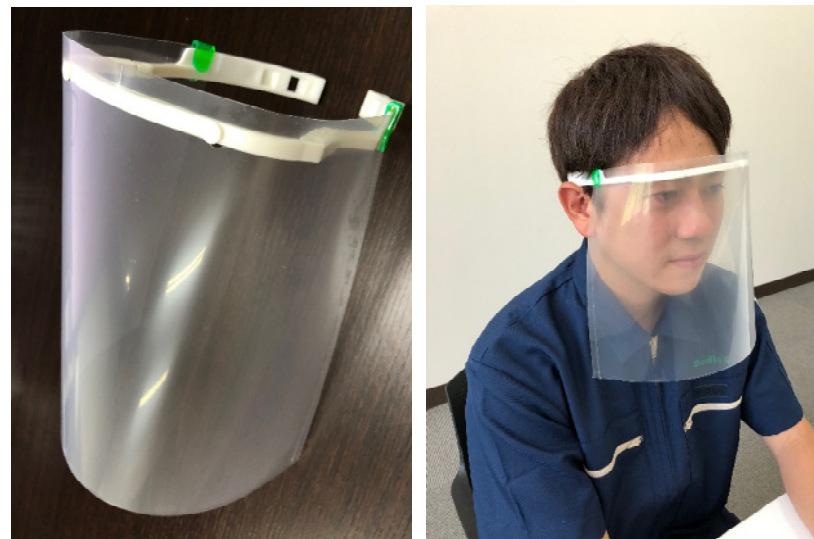
1 フェイスシールド用フレーム「Face Tech」の開発

当社は新型コロナウイルス感染症予防に有用なフェイスシールドを開発しました。7月上旬から月産10万個の生産体制を確立しております。

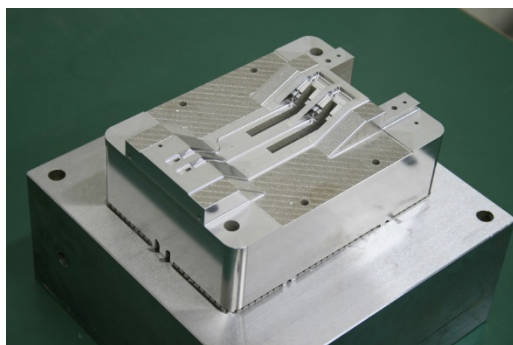
医療関係・各種公共機関はもとより、社会を活気づける上で欠かせないスポーツ関連の施設や団体などに寄贈・供給しております。

フェイスシールドのフレーム部は金属3Dプリンタ「OPM250L」とその専用射出成形機「MR30」を用いて製造。金型には3次元冷却配管を施しており、成形時の冷却時間半減、成形サイクル20～50%削減できるため、低コストを実現しております。

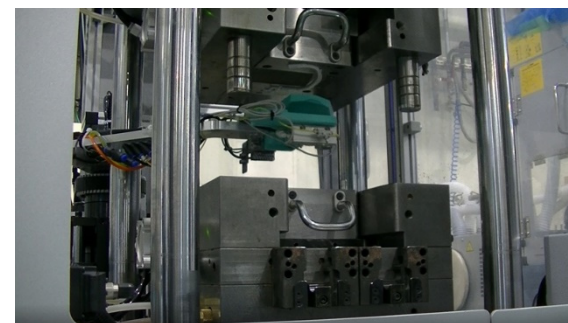
また、シールド部は市販のクリアファイルやラミネートフィルムト等の文具・日用品で対応でき、コスト面、衛生面で非常に優れています。



▲Face Tech と 装着姿



▲3次元冷却配管を備えた金型



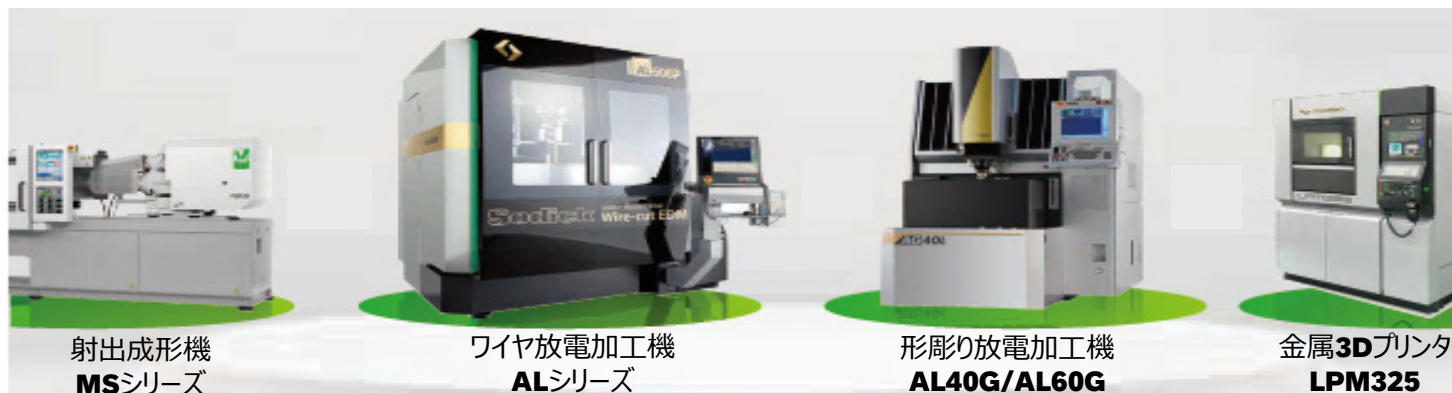
▲射出成形機「MR30」

※ご参考：プレスリリース「フェイスシールド用フレーム「Face Tech」を開発、供給開始のお知らせ」
https://www.sodick.co.jp/pdf/200709100132_20200709_facetech.pdf

2 Web展示会の開催

各地での展示会の中止や、お客様へのご訪問ができない状況下において、新機種や新しい機能をご紹介するため、新たな営業手法として、当社HPにてWeb展示会を開催しております。実際の展示会で公開する予定であった情報に加え、Webならではの詳細な情報や様々な機能・加工実例の動画など、多彩なコンテンツを展開しています。

展示会ブースはこちら！ https://www.sodick.co.jp/special/WebExhibition_Entrance/



射出成形機
MSシリーズ

ワイヤ放電加工機
ALシリーズ

形彫り放電加工機
AL40G/AL60G

金属3Dプリンタ
LPM325

3 リモートスクールの開催

当社ではお客様に対し、放電加工機や射出成形機に関する機械の概要や加工方法の説明、NCプログラムなどの作成方法をご説明するスクールを定期的を開催しております。従来は当社事業所にて開催しておりましたが、7月以降新たにWebを活用したリモートスクールを実施することとなりました。お客様のPCと研修用の実機をリモートで操作し、実際に機械を動かしながら、実習を体験していただきます。



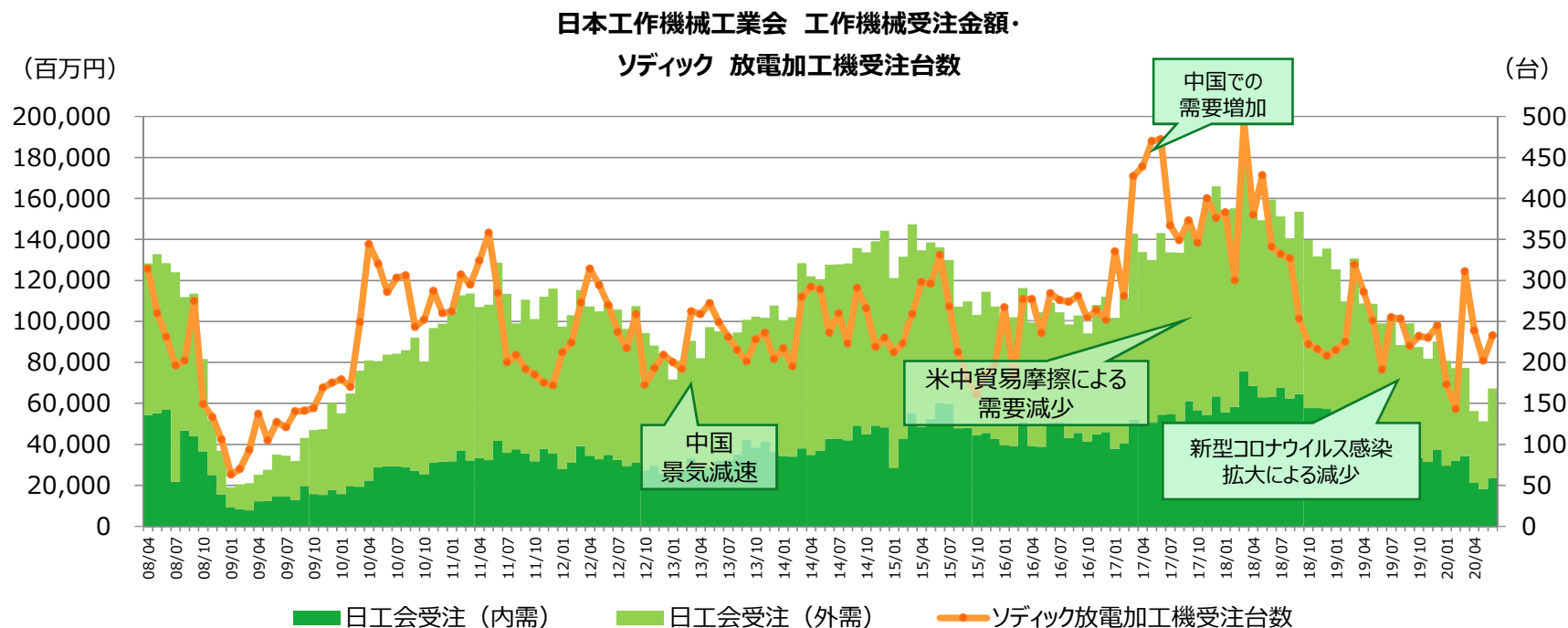
I. 2020年12月期 2Q決算概要

II. 2020年12月期 業績予想

III. 株主還元

(参考資料)

- ✓ 国内：政府の補助金政策や老朽化設備の更新需要など潜在的な需要はあるも、
新型コロナウイルス感染拡大による事業活動の停止や設備投資の見送り傾向あり、先行き不透明。
- ✓ 北米・欧州：徐々にロックダウンや外出制限が解除され、経済活動が再開するも、自動車関連や航空宇宙関連において
非常に厳しい状況となる見通し
- ✓ 中国：3月以降回復傾向が継続するも、全世界的な新型コロナウイルスの感染拡大や、米中関係の悪化など、
先行きは依然として不透明感あり。ただし、中長期的にはものづくりの高度化や自動化ニーズの高まり等もあり、
高精度機の需要は継続する見通し
- ✓ アジア：地域別に濃淡あるも、一部で移動制限等もあり、依然として厳しい状況が継続する見込み。



2020年12月期 通期業績予想（当初予想対比）



- ✓ 第2四半期累計期間の業績及び足元の新型コロナウイルスの感染拡大の影響を考慮し、期初計画を下方修正

(百万円)

	2020年12月期 通期		2020年12月期 通期		増減	
	当初予想 (2/14公表)	利益率	修正予想 (8/7公表)	利益率	金額	増減率
売上高	67,800	-	54,500	-	△13,300	△19.6%
営業利益	3,800	5.6%	1,000	1.8%	△2,800	△73.7%
経常利益	3,800	5.6%	1,000	1.8%	△2,800	△73.7%
当期純利益	3,100	4.6%	500	0.9%	△2,600	△83.9%

上期実績
期中平均レート

下期想定レート

通期予想レート

期中平均 為替レート	ドル	106.00 円	108.23 円	106.00 円	107.00 円
	ユーロ	118.00 円	119.31 円	123.00 円	121.00 円
	人民元	15.40 円	15.38 円	15.23 円	15.30 円
	バーツ	3.60 円	3.43 円	3.49 円	3.45 円

※2020年12月期 通期業績予想を修正しております。
詳細につきましては、2020年8月7日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2020年12月期 通期業績予想（進捗状況）



- ✓ 第2四半期累計期間の業績及び足元の新型コロナウイルスの感染拡大の影響を考慮し、期初計画を下方修正

(百万円)

	2020年12月期 2Q		2020年12月期 通期		進捗率	2019年12月期
	実績	利益率	予想 (8/7修正)	利益率		実績
売上高	26,702	-	54,500	-	49.0%	67,591
営業利益	345	1.3%	1,000	1.8%	34.5%	3,422
経常利益	362	1.4%	1,000	1.8%	36.2%	3,558
当期純利益	105	0.4%	500	0.9%	21.1%	2,002

期中平均 為替レート	ドル	108.23 円		107.00 円		109.03円
	ユーロ	119.31 円		121.00 円		122.03円
	人民元	15.38 円		15.30 円		15.77円
	バーツ	3.43 円		3.45 円		3.52円

2020年12月期 通期業績予想（セグメント別）



(百万円)

	2020年12月期			2019年 12月期 実績	
	2Q 実績	下期予想	通期予想 (8/7公表)		
売上高	● 工作機械事業	17,063	17,936	35,000	45,797
	● 産業機械事業	5,316	3,983	9,300	9,773
	● 食品機械事業	1,515	3,084	4,600	6,283
	● その他事業	2,807	2,792	5,600	5,737
		26,702	27,797	54,500	67,591
セグメント 利益	● 工作機械事業	941	1,308	2,250	4,621
	● 産業機械事業	276	123	400	165
	● 食品機械事業	5	144	150	625
	● その他事業	219	180	400	311
		1,442	1,757	3,200	5,723
調整額	△ 1,097	△ 1,102	△ 2,200	△ 2,301	
営業利益 合計	345	654	1,000	3,422	

工作機械事業

- ✓ 中国を中心に、自動車をはじめ他分野でも、ものづくりの高度化による高精度機の潜在的な需要あるも、新型コロナウイルスの全世界的な感染拡大の影響を受けた経済活動の制限等もあり、下期も厳しい状況が見込まれる

産業機械事業

- ✓ 足元の受注状況に一服感あり、下期はやや厳しい状況が見込まれる

食品機械事業

- ✓ 製麺機や米飯装置ともに需要は継続するも、新型コロナウイルスの全世界的な感染拡大の影響を受けた経済活動の制限等が見られる

その他事業

- ✓ 金型成形事業及びセラミックスの外販ともに需要減速を見込む

※業績予想の修正に伴い、セグメント別通期業績予想についても一部修正しております。

I. 2020年12月期 2Q決算概要

II. 2020年12月期 業績予想

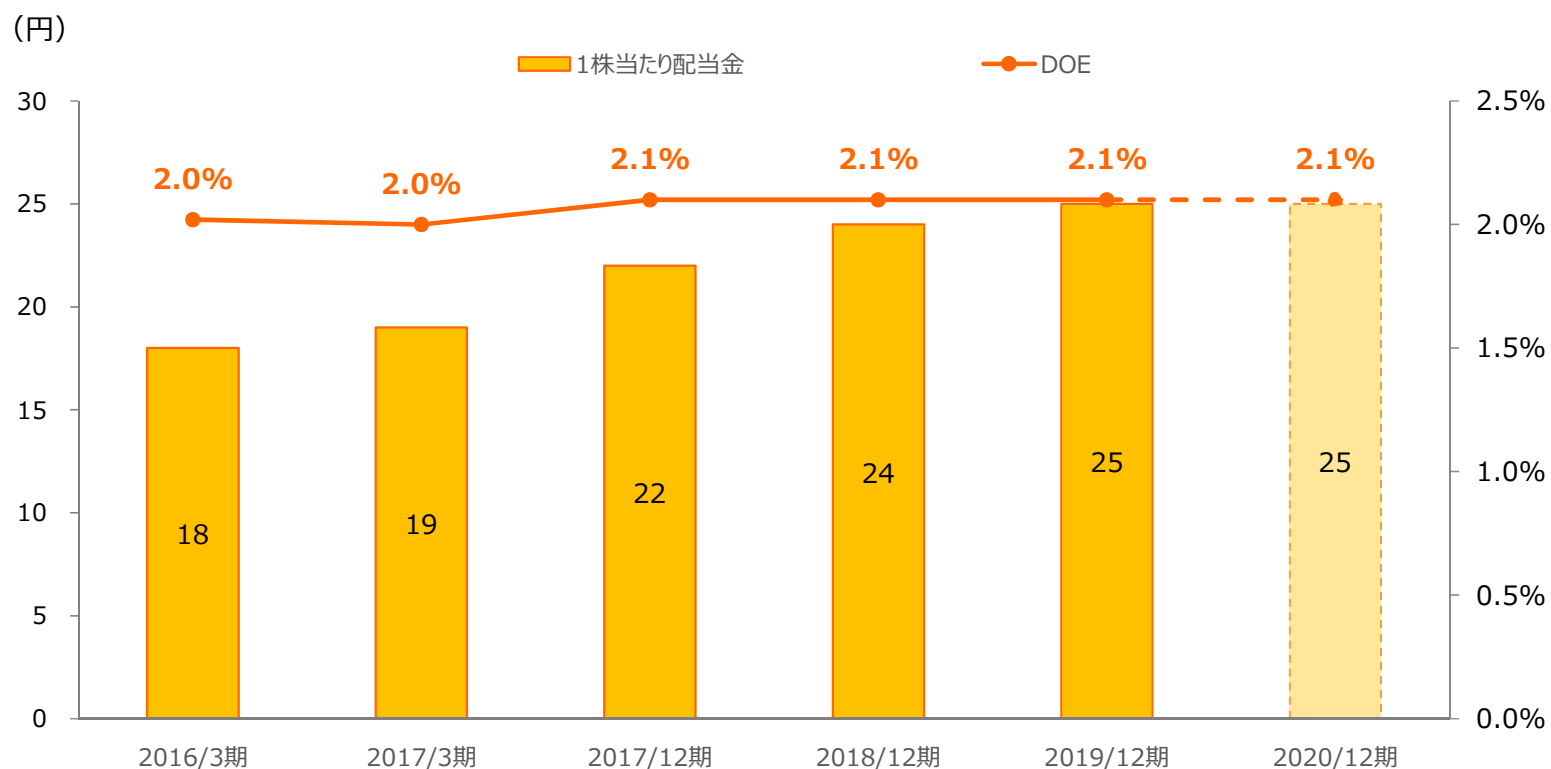
III. 株主還元

(参考資料)

株主還元方針及び配当予想



- ✓ 配当方針：株主資本配当率（DOE）2%以上を目指す。
- ✓ 2020年12月期の年間配当は、25円の予定（中間12円、期末13円）



- I. 2020年12月期 2Q決算概要
- II. 2020年12月期 業績予想
- III. 株主還元

(参考資料)

【参考資料】 国内外の拠点



- 本社
- 生産拠点
- 開発拠点
- 販売・サービス拠点

【参考資料】 主な展示会への出展情報

✓新型コロナウイルス感染拡大の影響により主要展示会が相次いで中止・延期。

期間	新日程 (延期の場合)	開催地		展示会	概要
2020年					
4/21~24	2021年 4/13~16	中国	上海	Chinaplas	射出成形機を出展 新型コロナウイルス感染拡大により 2021年4月に延期
5/13~16	9/23~26	タイ	バンコク	INTERMACH 2020	新型コロナウイルス感染拡大により 2020年9月に延期
5/18~22	9/7~11	中国	北京	CIMES (China International Machine Tools & Tools Exhibition)	新型コロナウイルス感染拡大により 2020年9月に延期
5/21~23	-	日本	金沢	MEX金沢	新型コロナウイルス感染拡大により中止
6/10~14	10/10~13	中国	上海	Die & Mold China	新型コロナウイルス感染拡大により 2020年10月に延期
6/23~26	-	日本	大阪	FOOMA JAPAN 2020	食品機械展示会 新型コロナウイルス感染拡大により中止
6/24~27	2021年 6/23~26	タイ	バンコク	INTERMOLD THAI	新型コロナウイルス感染拡大により 2021年6月に延期
9/14~19	-	USA	シカゴ	IMTS2020	世界最大級の工作機械展示会 新型コロナウイルス感染拡大により中止
10/6~10	-	日本	幕張	IPF Japan 2020 (国際プラスチックフェア)	射出成形機を出展 新型コロナウイルス感染拡大により中止 IPF Japan 2020 Virtual 代替開催
10/8~10		ベトナム	ホーチミン	Metalex Vietnam	
11/18~21		タイ	バンコク	Metalex Thailand	
11/24~27		中国	深圳	DMP 2020 (東莞国際金型・金属・プラスチック加工展)	
12/7~12	-	日本	東京	JIMTOF2020	世界最大級の工作機械展示会 東京オリンピック延期に伴い中止

本資料は、情報提供のみを目的として作成するものであり、当社株式の購入を含め、特定の商品の募集・勧誘・営業等を目的としたものではありません。

本資料で提供している情報は、金融商品取引法、内閣府令、規則並びに東京証券取引所上場規則等で要請され、またはこれらに基づく開示書類ではありません。

本資料には財務状況、経営結果、事業に関する一定の将来予測並びに当社の計画及び目的に関する記述が含まれます。このような将来に関する記述には、既知または未知のリスク、不確実性、その他実際の結果または当社の業績が、明示的または黙示的に記述された将来予測と大きく異なるものとなる要因が内在することにご留意ください。これらの将来予測は、当社の現在と将来の経営戦略及び将来において当社の事業を取り巻く政治的、経済的環境に関するさまざまな前提に基づいて行われています。

本資料で提供している情報に関しては、万全を期しておりますが、その情報の正確性、確実性、妥当性及び公正性を保証するものではありません。また予告なしに内容が変更または廃止される場合がありますので、予めご了承ください。

＜本資料に関するお問い合わせ先＞

株式会社ソディック コーポレート本部 社長室

〒224-8522 神奈川県横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号

TEL : 045-942-3111 FAX : 045-943-5835